

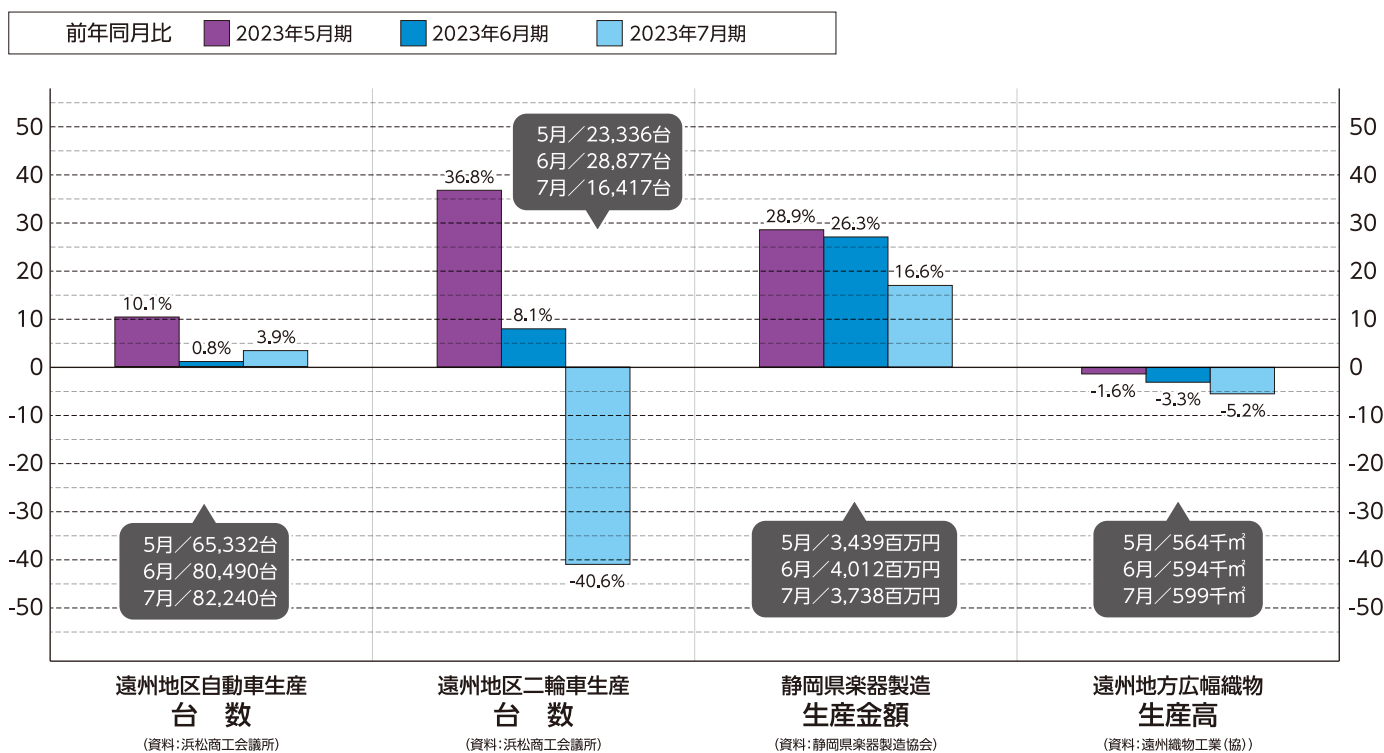
# 浜松地域の経済動向

2023年  
7月を中心に

製造業は半導体などの部品供給不足が緩和され業況回復、  
サービス業は人手不足が課題となっている。

製造業では、半導体などの部品供給不足が緩和され、自動車生産台数および楽器生産金額は順調に伸びている。一方、二輪車は前年同月と比較して約4割減となり、輸出減が大きく影響している。繊維も前年同月を下回った。コロナが5類になり、経済活動の再開に伴い、タクシー需要は回復しているものの人手不足によりビジネスチャンス逃している。ホテルの稼働率は50%を上回った。雇用情勢は回復傾向にある一方、企業の倒産は前年同月の2倍となった。円安は更に進行し、2カ月連続で140円台となった。

## ① 製造業〈主要経済指標〉



### 自動車



2023年7月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比3.9%増の8.2万台となった。半導体などの部品供給不足が緩和され、5カ月連続で増加となっている。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は1.4%増、小型四輪車は8.4%増、普通自動車は19.0%増となり、全て増加となった。小型四輪車については15カ月連続で増加となっている。国内向けは16.2%増、輸出は25.3%減となり、国内向けは5カ月連続で増加となった。

### 二輪車



2023年7月における二輪車生産台数は前年同月比40.6%減の1.6万台となり、3カ月ぶりに大幅減少となった。国内向けは35.7%減、輸出は41.2%減となり、輸出減が大きく影響している。排気量別では、50cc以下54.8%減、51cc~125cc以下48.4%減、126cc~250cc以下63.6%減、251cc以上30.4%減となり、全ての排気量が減少となった。251cc以上は5カ月ぶりの減少となった。

### 楽器



2023年7月における生産金額は前年同月比16.6%増の37.3億円となり、13カ月連続で前年同月を上回っている。前月(6月)の月間生産金額40億円には届かなかった。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ2.8%減、電子・電気ピアノ63.4%減、電子オルガン13.0%減、管楽器15.3%増となった。

### 繊維



2023年7月の生産高は前年同月比5.2%減の599千㎡となり、3カ月連続で前年同月を下回った。5月にコロナが5類になり落ち着いてきているが、遠州地方の生産高は回復していない。食料品など生活必需品を含めた物価高騰が進んでおり、衣料品の購入優先順位が下がっているの影響がある。また、アパレルメーカーも在庫を絞ったり、発注ロットを小さくしている傾向がある。

## ② 非製造業〈主要経済指標〉

### 運輸



2023年7月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比4.7%増の32万人となった。コロナが5類になり、ホテルの催事や夏のスポーツイベントも開催され、乗車人員も増加している。しかし、各社ともコロナ禍で人員や車両を減らしており、仕事量は回復してきているが、乗務員不足が課題になっている。

### 観光

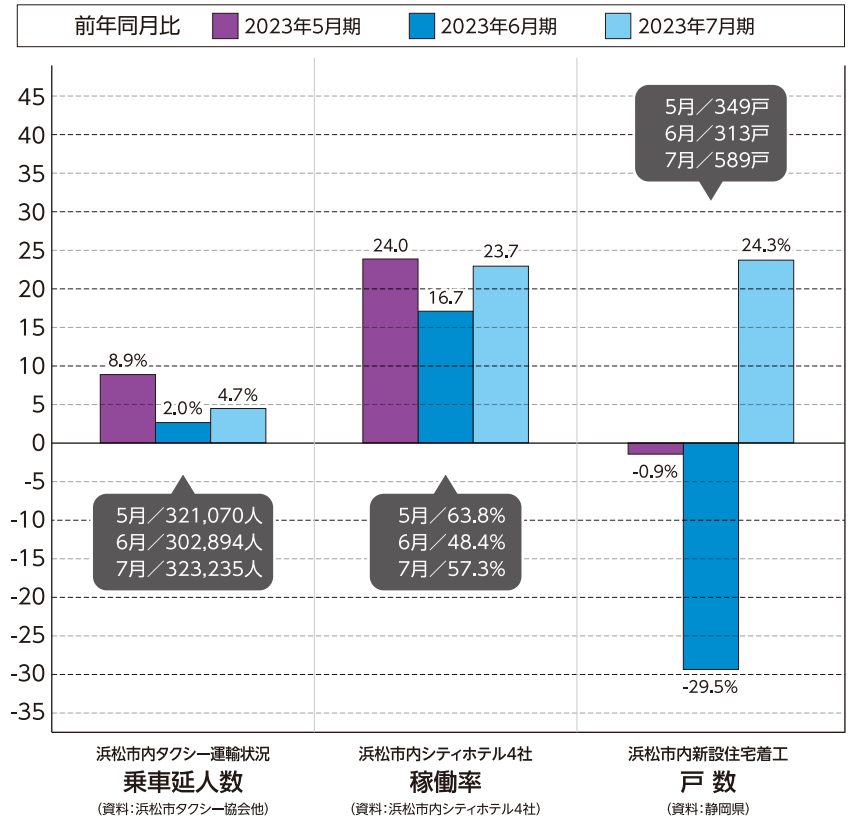


2023年7月の浜松市内ホテルの稼働率は57.3%であった。団体客は、学生のスポーツ関連の大会が開催され、大幅に伸びた。個人観光客は伸び悩む傾向であったが、ビジネス客に関しては増加傾向であった。インバウンドも伸びつつあるが、まだ東南アジアが中心で、中国人客が戻るのがポイントになっている。

### 住宅着工



2023年7月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比115戸(24.3%)増加の589戸となった。内訳をみると、持家は230戸、貸家156戸、分譲住宅は202戸であった。



## ③ その他〈主要経済指標〉

### 有効求人



ハローワーク浜松管内における2023年7月の有効求人倍率は1.26倍となった。前年同月との比較では0.10ポイント、前月との比較では0.04ポイント上回った。全国(1.29)との比較では0.03ポイント下回り、静岡県(1.22)との比較では0.04ポイント上回っている。今年5月に新型コロナウイルスが5類へ移行したことでサービス業や観光・飲食業などで求人が増えていると推察される。

### 倒産企業



2023年7月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は8件、負債総額は7.9億円だった。前年同月との比較では4件増加し、負債総額は7.2億円増加した。静岡県全体の倒産件数は24件で前年同月を18件上回った。7月は浜松市、静岡県ともに増加しており、今後の倒産件数増加が懸念される。

### ガソリン価格



2023年7月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり171.5円で、2022年7月以来の170円を超えた。7週連続の値上がりで、前月との比較では4.0円上昇となった。ガソリンの元となる原油価格の高止まりとドル建てで取引される原油は円安が小売価格に反映していることが要因となっている。

### 外国為替



2023年7月の外国為替は1ドル141.21円となった。前年同月との比較では4.58円、前月との比較では0.02円の円安となった。日本は金融緩和策を継続する方針で円安が続いている。

